

狭山再審かちとり石川氏即時奪還を



84. 5. 30

No. 1653

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五〇六（公衆）〇四七二二二七二〇七

5/23 狭山闘争関東ブロック集会

5月23日、東京日比谷野音において、「石川一雄氏不当逮捕21カ年糾弾、再審闘争勝利、狭山闘争関東ブロック集会」が開催され、勤労千葉は青年部を中心に、部落解放同盟・千葉県連の旗のもと共に闘いぬきました。

「石川さんの無実が明白。なんとしても奪還しよう」

片岡事務局長が基調報告

集会は、解放同盟・関東ブロックより2名の議長を選出し、中央本部吉本氏のあいさつ、関東ブロック各県連から、選出された、5・23行動隊オルグ団の紹介、これに伴う学習会の報告等を経て、埼玉県連選出の関プロ事務局長、片岡氏より、基調の提起が行われました。

片岡事務局長は、①小名木証言につづき、事件当時の警察鑑識官、五十嵐が、殺害現場とされている、雑木林説を否定した証言、この裏付けとして、その雑木林に、一滴の血痕ルミノール反応が検知されなかったとの新事実を証言、これらの新たな事実にもとづき、なんとしても再審闘争の勝利をかちとること。②5・23は、全国の部落民にとって決して忘れてはならない日であり、石川一雄兄弟の即奪還の狭山闘争こそ、部落解放闘争の根底的な闘いである。と報告しました。

21年をへてなお獄中で闘う石川一雄さんの決意に込めて、再審闘争を貫徹しよう

基調報告のあと、一段と会場の拍手が高鳴るなかで、石川一雄さんの、熱烈なるアピールが、代読されました。石川さんは、「私の狭山裁判は、私の自白の虚偽架空性と捜査当局の不当性が明白になったいま、なお獄舎の厚い壁を破るのは、再審をなんとしても開かせる以外にないのですが、今日の最高裁の露骨な反動ぶりからして、狭山闘争の本段階で勝利するためには、今以上の世論を巻き起こして頂きたい。私もそのために、日夜不撓不屈の精神で文字通り生命をかけて闘っておりますので、何卒皆さんも、一層頑張ってください。さるよう心からお願ひ申し上げます」と切実の中にも熱烈に訴えた。

狭山・三里塚の闘いこそ勝利のカギだ

狭山闘争こそ、三里塚に並ぶ階級決戦であります。日帝・権力による差別政策、侵略戦争政策と真

向から

対決し、

部落解

放、労

働者解

放、日

帝打倒

の闘い

を闘い

ぬかな

ければ

なりま

せん。

こうし

た狭山

闘争と

結合し

て、と



りわけ、切迫する三里塚二期決戦の闘いに決起し三里塚・狭山の勝利こそ日帝・中曽根打倒の道なのです。

田中青年部長が決意表明

関プロ全体集会の後、各県連ブロックごとの集會がひきつづき開催され、栃木・神奈川・千葉のブロック集会で、解同千葉県連の決意表明のあと千葉県連支援共闘を代表して、発言に起った、田中青年部長は、「狭山！三里塚の結合で、闘いに勝利すること、臨調・行革！国鉄攻撃こそ、全労働者への共通の攻撃であり、これと真向から対決し、闘いぬくこと、そして勝利するために狭山・三里塚を闘う、労働者人民の闘いの力によって日帝・中曽根を打倒すること。なによりも本日の闘いを期して、石川さんの即時奪還をかちとろう、勤労千葉はその最先頭に起つ」との決意を表明しました。

この日、勤労「本部」革マルは集会にも介入することができず、狭山闘争の裏切り者としての姿を明らかにしました。

今秋三里塚二期決戦を闘いぬき、狭山闘争勝利！石川一雄さん奪還まで全力で闘おうではありませんか。